

第8回 家具デザインコンテスト 2017

8TH FURNITURE DESIGN CONTEST 2017

2017

7 / 31 (mon) — 12 / 31 (sun)

∞ グランプリ	¥ 300,000
∞ 準グランプリ	¥ 50,000
∞ オーディエンス賞	¥ 20,000

テーマ (1) 自由

テーマ (2) 大分県産素材を活用したデザイン

テーマ (3) 積層造形を用いたデザイン

家具デザインコンテストは今回で第8回を迎えることになりました。

歴代の受賞作品のいくつかは、「HOZO」の商品として、国内だけにとどまらず世界に向けた発信を続けています。

去年から「HOZO」のプロモーションには、地域の伝統産業を支えてきた職人の「手」の写真を使用しています。鉋(カンナ)を持つ手は力強く、鉋から出る削り華(鉋くず)には目を見張る美しさがありました。時にミクロン単位の加工が必要とされる木工技術は長い年月をかけ丁寧に積み上げられ、磨かれ、我々が生きる現代へつながっています。現代の合理的な技法だけでは現れてこない厚みのある美しさがそこにあるように感じています。

「HOZO」の特徴的な積層式の家具は、このような職人とデザイナーの結びつきにより生み出されたものです。デザイナーの発想と地域の伝統産業を支えてきた職人の手仕事の結びつきには未知数の可能性が潜んでいるように考えています。

今回のテーマは選択制です。表層的だけではなく、本質に迫ったデザインを募集します。

応募要項

募集内容 テーマ(1) 自由
テーマ(2) 大分県産素材を使用したデザイン
※使用素材指定有り。
テーマ(3) 積層造形を用いたデザイン

応募資格 不問(個人またはグループで複数点応募可)

使用素材 自由 ※テーマ(2)は除く。

審査基準

1. アイディアが斬新であること
2. デザイナーの個性が反映されているもの
3. 造形美を感じられるもの
4. 永く愛用できるもの
5. コンセプトが明確なもの

賞の種類

グランプリ賞	1点	賞金	30万円
準グランプリ賞	1点	賞金	5万円
オーディエンス賞	1点	賞金	2万円

+ 全賞製品化検討・ロイヤリティ契約

応募期間 2017年7月31日(月) — 12月31日(日)

*当日消印有効

※場合により別途賞を授与することがあります。

※該当作品がない場合、各賞の数が変更されることがあります。

※他のコンテストとの併願はご遠慮ください。

※国内外で未発表、または製品化していないデザインに限りです。

コンテストフロー(予定)

1次審査 2018年2月下旬
県内の専門家によって約10点を選出。

2次審査 2018年3月下旬
公式サイトにて一般投票。

最終審査 2018年4月下旬
再度入賞候補の検討を行います。

最終結果 2018年5月下旬
公式サイトにて発表。

製品化 未定

※2次審査一般投票の上位の作品が「オーディエンス賞」となります。

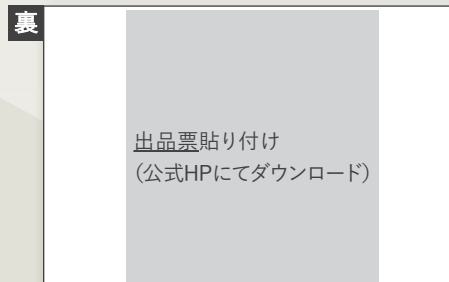
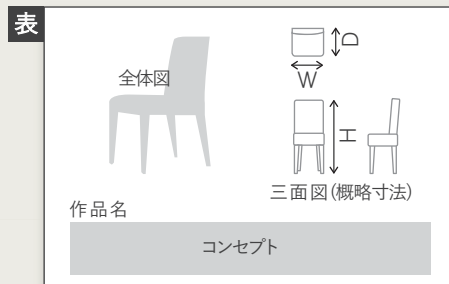
※日程は変更される場合がございます。

応募方法

■A3(H297mm×W420mm)/横/片面※1枚のみ有効
A3用紙1枚に、以下の必須項目を自由に表現してください。
必要に応じて、必須項目を追加しても構いません。
裏面には、出品票を縦に貼りつけてください。

■必須項目: 作品名 / コンセプト / 全体図 / 三面図

■記入例:



▶ <http://www.npo-japan.org/contest/yoko.html>

※コンセプトシートは返却いたしませんので予めご了承ください。

※裏面にハレパネ、モデルボード等の厚みのあるものは貼らないでください。

※全体図(レンダリング)は、3DCGまたは手描きや写真等で自由に表現してください。必ずしも3Dソフトで作成したものでないといけません。ご自身のデザインされたものをより良く、より分かりやすく伝えるために最適なツールをご利用ください。

※複数点応募される場合も、全ての作品に出品票を貼り付けてください。

※アルファベットと数字の判別をさせてください。例:o(オー)と0(ゼロ)

※ご応募の際に使用出来るメールアドレスはPCのみです。

※テーマ(2)を除き、イスやテーブルなどのインテリアとしての機能を果たすものであれば木材に限らずどの素材を使用しても構いません。

※受賞後、製品化に向けてのご連絡は個別にご連絡いたします。

www.npo-japan.org

テーマ(2) 概要

テーマ(2)では、「大分県産素材を使用したデザイン」を募集します。

「真竹、日田杉、七島イ、日田石、小鹿田焼、スプリング」の計6点の中から選び、デザインに使用していることが条件となります。

※必ずしもメインの素材として使用する必要はありません。

※テーマ(2)で応募する際は、出品票の選択テーマ欄にあるテーマ(2)に必ずチェックを入れてください。

※テーマ単体ではなく全テーマを通しての受賞となります。

1. 真竹 繊維が強くてしなやか

大分県が生産量日本一の真竹は繊維が強くしなやかなため割って細長い板状にすることで竹細工などの加工に適しています。特に引張りには強く、弾力性があり丈夫です。

参考：別府竹製品共同組合青年部

<http://www.bepu-take-kumiai.com>

2. 日田杉(杉) 軽くてしっかりとした木目

日本の固有種で独特の香りがあり、国産木材の中で最も多く生産されており、古来から日本人の生活の中で親しまれています。材質は軽く、木目がはっきりしており、赤太(心材)の部分と白太(辺材)の色の差があります。

参考：カネサダ横尾木工所

<http://www.hitasugi.com>

3. 七島イ 断面が三角で丈夫

「七島イ(しとくい)」は、大分県の国東地方だけで生産されているカヤツリグサ科という植物で、畳の材料となります。似ているもので「イ草」がありますが、イ草の断面は丸いのに対し、七島イは三角の形をしています。

参考：七島イ振興会

<http://shitto.org>

4. 日田石 柔らかく暖かい質感

柔らかく暖かい質感で、落ち着いたグレーの安山岩で、濡れると黒くしっとりとした表情になります。日田周辺の山地で採石され、地域の景観素材として活用されています。

参考：ランアップ株式会社

<http://www.lanup.co.jp>

5. 小鹿田焼(おんたやき) 自然と人の労力の融合

大分県日田市の山間の小鹿田焼地区で焼かれる陶器です。土づくりから始まるすべての作業を、人の労力と自然の力を使い、丁寧な手作業によって素朴であたたかい雰囲気があります。

6. スプリング 自動車や家具に

大分県西部地方では、自動車や家具、ベッドなどに使われるスプリングが作られています。金属の材質や太さやサイズ、表面処理の方法や塗装などの条件を変える事で様々な用途に利用できる可能性があります。

参考：スプリングの佐竹

<http://www.satakesp.co.jp>

テーマ(3) 概要

テーマ(3)では、「積層造形」を用いたデザインを募集します。<積層造形とは>

立体物を水平に輪切りにした断面データをもとに、紙・樹脂・粉体などの薄い層を積み上げて立体物を製作する技術。3Dプリンターやレーザーカッターなどに用いられる。

(コトバンクより引用)

薄い合板をいくつも重ね、複雑なデザインを形成する方法で、第1回家具デザインコンテスト受賞作品の「いのちのかたちをしたローテーブル」は誕生し、ブランド「HOZO」の広告塔として展示会等で見る人を魅了し続けています。また、2016年に具現化した、第4回の受賞デザイナー花岡徳秋氏の作品「BUNBUN」と「CAVE TABLE」などを筆頭に応募作品に積層式デザインが見られるようになったため、テーマ(3)として新たに「積層造形」を用いたデザインの募集を開始いたしました。

※使用する素材は自由です。

※テーマ単体ではなく全テーマを通しての受賞となります。

製品化について

当家具デザインコンテストでの入賞作品は、オーダー家具ブランド『HOZO』として大分県の職人や企業と協力し、製品化しています。

第7回までのコンテスト開催により、計10作品は既にネット販売や家具見本市への出展、イベント等を通して世界に羽ばたきつつあります。今後も当家具デザインコンテストで世界中へ日本の新しいものづくりを提案していきます。

製品化作品『HOZO』 <http://gallery-hozo.jp>



[第4回入賞作品]

BUNBUN

デザイナー:花岡 徳秋



[第4回応募作品]

CAVE TABLE

デザイナー:花岡 徳秋

第20回木材活用コンクール
第4部門賞受賞

応募先・お問合せ

[応募先] NPO法人日本総合デザインサポート協会
〒870-0854 大分県大分市羽屋 931-1

[お問合せ] info@npo-japan.org

対応時間 … 平日 9:00~17:30

※お問い合わせはメールのみです。

※24時間お受けしておりますが、営業日での返信となります。

www.npo-japan.org